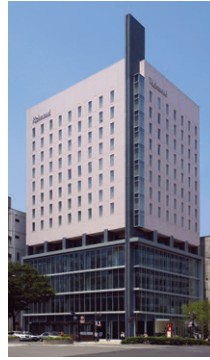


仙台東宝ビル



所在地：宮城県仙台市青葉区中央2-1-1
 建築面積：807.65㎡
 延床面積：9,595.73㎡
 構造・規模：S造一部SRC造、地下1階、地上13階、塔屋2階
 建築主：東宝株式会社
 設計・監理：竹中工務店設計部
 施工：建築／竹中工務店
 電気／関電工
 竣工：平成20年6月

(撮影/S.S.東北)

仙台駅前の青葉通りに面して新しく整備された「仙台東宝ビル」。

1階から4階のオフィスの照明は、レイアウト変更時に容易に対応できるグリッド天井システムスクエア器具を採用。

利便性のよい仙台駅前に誕生したホテル・オフィス・飲食店が入居の複合テナントビル

旧東宝仙台ビルは地下に飲食店、1階～5階にオフィス、6階～8階に映画館「仙台東宝1・2」があり、仙台駅前の顔として、また、待合せ場所として親しまれていましたが、長年の経過で老朽化が進み、平成18年2月に閉館。

解体後に新築工事が進められていた「仙台東宝ビル」が、平成20年7月に淡いピンクのタイル張りやシャープなカーテンウォールを石の塔が貫くシンボリックなビルとしてグランドオープン。地下に飲食店が入り、1階から4階がテナントオフィス、5階から13階が「リッチモンドホテルプレミア仙台駅前」という構成になっています。

オフィス階には間仕切り変更時等に容易に対応可能なグリッド天井システムを採用

1階から4階までのオフィスの照明は、グリッド天井システムスクエア器具(600mm角)が採用されており、レイアウト変更に伴う器具の移設や増設にフレキシブルに対応できるようにすると共に、天井ボードが点検口となるため容易なメンテナンスを可能にしています。同時に、窓側と内側の2系統に設けた照度センサとの連動で、設計照度750lxを維持しながら、ランプ交換時の余剰な明るさをセーブする初期照度補正制御と昼光利用制御で消費電力を抑制し、省エネを図っています。スクエア器具は、執務室では45Wコンパクト形蛍光灯2灯用下面ルーバ付きの採用で、目の疲労を軽減した光環境としています。また、打合せコーナー・相談コーナーは45Wコンパクト形蛍光灯3灯用下面乳白カバー付きを採用し、柔らかな拡散光による落ち着いた照明環境が得られています。

一方、5階から13階に設けられているホテルは、5階のフロント及び廊下においては、ハロゲンランプ及びコンパクト形蛍光灯ダウンライトと間接光を主体とした照明で、建築的な魅力を引き立たせた広がり感のある空間を創り出し、くつろぎ感を高めています。

1階の管理室には照明制御装置主操作盤(MESL-S)が設けられ、オフィスフロアの共用部ではゾーン/パターン・グループ制御やタイムスケジュール、週間・年間スケジュール設定及び状態監視が行えるようになっており、省エネ性、安全性を確保しています。



1階から4階のオフィスの照明はグリッド天井システムスクエア器具を、執務室にはFHP45×2を、打合せコーナーにはFHP45×3を採用



執務室には、グリッド天井システム、FHP45W×2ルーバ付
 打合せ・相談コーナーにはグリッド天井システム
 FHP45W×3カバー付



ホテルフロントロビーの照明 ダウンライトと間接照明を主体
 (撮影/吉村 行雄)



ホテル廊下の照明



照明制御装置主操作盤
 (MESL-S)

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
室内	グリッドシステム天井スクエア器具(埋込ルーバ付)	特注	467	45Wコンパクト形蛍光灯×2
	グリッドシステム天井スクエア器具(埋込乳白カバー付)	特注	50	45Wコンパクト形蛍光灯×3
	間接トラフ	FHT-41008-PH9	116	32WHf蛍光灯
	ダウンライト	FHD-31016-PM9	332	24Wコンパクト形蛍光灯
		FHD-31016-PM9	106	32Wコンパクト形蛍光灯
		BFD-10008 (EFD15/13)	231	15W電球形蛍光灯
		IHD-2583N (W)	75	60Wハロゲンランプ
		ID-76101 (W)	24	95W電球 (レフランプ)